

▼パンクレアチン [内]

【重要度】 【一般製剤名】パンクレアチン Pancreatin 【分類】消化酵素剤

【単位】▼g

【常用量】3g/日

1g 中澱粉糖化力 2800 単位以上含有

【用法】分3

【透析患者への投与方法】減量の必要なし

【保存期腎不全患者への投与方法】減量の必要なし (5)

【特徴】動物の膵臓から精製した消化酵素の混合物で中性～弱アルカリ性で活性を示し、でんぷん、蛋白質及び脂肪を消化。慢性膵炎における非代償期の消化吸収を改善する目的で、常用量の2～3倍投与することがある。中性～弱アルカリ性で活性を示す。

【主な副作用・毒性】過敏症（ウシ、ブタ蛋白質過敏症には禁忌）、くしゃみ、流涙、発赤など

【更新日】20230705

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。